

## 働く



聖書のことは

一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままです。  
しかし、死ぬなら、豊かな実を結びます。(聖書 ヨハネの福音書12章24節)



## ～ 新 年 雑 感 ～

理事長 川 越 瑞 枝

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

温暖化で季節がずれこんだのか、通勤路の宮崎南バイパス空港近くには、つい最近までひまわりとコスモスが3キロ位にあたって一緒に咲いていた。また、ニトリモール付近には桜が咲いていて、春の花見時にしか見ないものと思い込んでいた私は、一定のメカニズムと言うか条件が合えば咲くんだぁーと少し感動いたしました。

エデンの園では、施設創立から40年の歩みを記念して、昨年10月町内で『感謝のつどい』を行ないました。会場には、町役場をはじめ日頃利用者、職員がお世話になっている関係機関の方々、家族会、地域の方々が沢山来場して下さり、会場が一つになった温かい雰囲気、新たなスタートに向けて心強さを感じました。お忙しい中に足をお運びくださった方々へ心から感謝申し上げます。会場には日常の活動報告を兼ねて利用者の作品と、報告パネルが所狭しと展示され、プログラムの最後には利用者の高山こずえさんのユニットKCスピリット、井上バンドのコンサートにしばし酔いしれながら至福の時を過しました。

入所利用者の「書道クラブ」と森永の放課後デイサービス「麦あらぼうし」の書道を担当している私は、「記念行事の時に展示する作品をつくろう!」と呼びかけをした。麦あら帽子では、大喜びでアニメの主人公やヒーロー、歴史上の武将、家族の名前とか、書いた事もない漢字が飛び出して、実力には関係なく目一杯背伸びして挑戦しようとする子供たちの笑顔に囲まれながら、手本を書く幸せな時間を楽しませてもらいました。

6歳頃から兄と一緒に書道を始めて、先生は遠縁にあたる学校の教師でした。後に高校に行ったらまた習う事になってしまい、はじめは少し反抗して口もきかず、他人行儀な話し方をしていたのを覚えています。しかし、

社会人になり仕事をするようになってから、上司等に度々筆書きを喜ばれ、重宝がられて、賞状書きや、県公会堂の垂れ幕、横断幕を引き受けて書くようになってくると、だんだん自分の字が嫌になり、裸を人前にさらされているように感じ、止めようと思うようになりました。そうして改めて古典の漢字、かなから出直そうと決心し、高校の時と同じように毎朝条幅10枚を意地になって書くようになり、師範に到達するころには書く事が好きになって、夜中に起きて書きたい文字を書く事もありました。

今は、パソコンで何でも作れる時代になりましたが、大小、長さ自由に限られたスペースに伝達事項を書き込める便利な手段であり、特に聖書のみ言葉を書く時には、老人から子供まで誰でも読めるように、そのメッセージが伝わるようにと祈りと願いを込めて書く事にしています。字は筆で書くだけではなく、それを人前にさらして「恥」をかけばかくほど上達するものだと実感しております。



平成30年度宮崎県障がい者アーティスト育成事業

春、わくわくする季節  
風、やさしい街にどみ  
さわやかな音楽と笑顔を

**第1回** **くにとみ**  
**春風コンサート**

**観覧無料**

**日時** 2019年**3月2日(土)**  
開場: 12:30~ 開演: 13:00~

**場所** **国富町農村環境改善センター**  
(国富町役場内)

**出演者**

- サンライズくにとみバンド (エデンの園)
- KCスピリット (エデンの園)
- えびー☆くり→ん(向陽の里)
- 真北聖子

主催: 社会福祉法人エデンの園  
共催: 宮崎県社会福祉事業団向陽の里